

代表者会議でのこれまでの取り組み

【第1回】 7月1日（水）

- ・ 7月1日付け新聞報道を受けて、市会としての対応について協議
- ・ 自民党神戸の当時団長の大野議員・浜崎議員を招致

代表者会議の前には、正副議長が自民党神戸の当時団長であった大野議員・浜崎議員から事情を聴取し、両議員からは、迷惑をかけて申し訳ない、委託相手先の住所に誤りがあったことは事実であり反省している、調査報告書は毎回提出してもらっており議長に対して提出する用意もあるとの説明を受けた。

代表者会議では、両議員から「議会に迷惑をかけ申し訳ない」との謝罪を受け、引き続き代表者会議で事情聴取し、事実関係を明らかにするとともに、今後の対応についても検討していくことを決定した。

【第2回】 7月3日（金）

- ・ 大野議員・浜崎議員から事情聴取
- ・ 調査委託の成果物は、今後は議長宛てに提出することを決定

大野議員からは、新聞報道された平成22年から26年間の委託調査は2社（A社・B社）に対する15件、1,400万円弱のものであるが、元自民党神戸の議員6人で議論した結果、A社は会社の所在地が変わっているにも関わらず放置しているようなお粗末な会社であったこと、改めて見るに調査委託の成果物に支払っただけの価値が見出せないとの意見が多かったことから、自らも反省し、1,400万円弱の全額について市に返還するとの判断をしたとの説明を受けた。

また、各代表者からの、どのような調査を行ったのか、どのような業者であるのか、会派として調査を認めたのかといった質問に対し、個人的な信頼関係に基づき調査を委託したものであること、当時の会派では少なくとも団長と相談の上、委託を決めていたこと、結果として判断が甘かったと反省していることなどの説明があった。

【第3回】 7月10日（金）

- ・ 今後の対応について協議
- ・ 大野議員からの事情聴取の続行を決定

【第4回】 7月16日（木）

- ・ 大野議員の入院を受けて、今後の対応について協議
- ・ 自民党神戸への調査要請を決定

【第5回】 7月23日（木）

- ・ 自民党神戸（当時団長の浜崎議員）から調査経過を聴取

浜崎議員からは、B社の調査委託の仲介人とされる人物から「大野議員から調査委託を頼まれたことはない」、「ある事についての市民の意見を聞いてほしいと言われたことはあり、口頭で報告した」、「報酬は受け取っていないが、自民党神戸の複数の先生からはカンパをもらっており、カンパの受け取りに伴う領収書について、大野先生からは個人の領収書ではなく法人の領収書を依頼された」との回答を得たが、大野議員のこれまでの発言と異なる部分があることから、今後改めて大野議員側から聞き取りを

するとの報告があった。

また、各代表者からの、カンパとはどういったものなのか、仲介人が自民党神戸の政策秘書を名乗っていることについて会派としてどういう認識でいるのかといった質問に対し、カンパとは自民党神戸の有志が仲介人の選挙活動を応援するためのものであり、大野議員が発案して行われたこと、仲介人は政策秘書ではなかったが、大野議員がその肩書きの使用を許していたと思われることなどの説明があった。

【第6回】 7月29日（水）

- ・ 自民党神戸（当時団長の浜崎議員）から調査経過を聴取
- ・ 大野議員側弁護士への出席要請を決定

浜崎議員からは、A社の代理人弁護士から「委託調査を受けたことはなく、費用も受け取っていないこと、また、領収書については、平成26年9月30日付けの手書き領収書は大野議員から提示された金額を代表者が記入し、それ以外の領収書は全て白紙で大野議員に渡したこと、報告書については、A社は作成しておらず、大野議員から当方で作成したとの連絡が事件発覚後にあったこと」を、大野議員側弁護士から「A社の代理人弁護士が言っていることは本当であること、また、大野議員が代表者会議で全て説明できると言っていたことは嘘であったこと」を聞き取りしたとの報告を受けた。

【第7回】 8月10日（月）

- ・ 自民党神戸（当時団長の浜崎議員）から調査結果を聴取
- ・ 故大野議員側弁護士から事情聴取
- ・ 自由民主党による刑事告発を了承
- ・ 市会の信頼回復のための協議の続行を決定

浜崎議員からは、今年3月下旬に大野議員から当時自民党神戸に所属していた各議員に選挙に向けての陣中見舞いとして資金提供があったこと、その資金の原資については承知しておらず、議員ごとの金額についても分からないこと、今回の問題が発覚した7月3日ごろに大野議員より返金のため助けてほしいと相談があり、当時自民党神戸に所属していた現職の議員が資金協力をしたことの報告があった。

また、故大野議員側弁護士からは、A社への調査委託を装って政務活動費から捻出した資金は、自民党神戸に所属していた12名の議員と新人5名に対して、今年の統一地方選挙の陣中見舞いとして配られた（山口議員はすぐに返金され、新人1人には実際に渡されていない）こと、陣中見舞い金額の決定及び新人の人数などに大野議員は関わっていないこと、B社への調査委託については、会社の代表者が領収書を作成していたが、資金はB社に流れていないことの報告があった。

以上を踏まえ、自由民主党より刑事告発を行う旨の意向が示され、各代表者も司直に真相究明を委ねることに賛同するとともに、再発防止に向けてその方策を検討していくことにより、市民の議会に対する信頼回復のために協議を続けることを決定した。

【第8回】 8月17日（月）

- ・ 再発防止に向けた検討組織について協議
- ・ 政務活動費の適正使用に関する検討会の設置を決定
 - 議長が座長、副議長が副座長、交渉会派からは委員を各2名選出
 - 非交渉会派・無所属議員のオブザーバー参加可
 - 議員の傍聴可、マスコミも傍聴可